

寄付金募集趣意書

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より秋田県高等学校定時制通信制教育振興会（以下「本会」）の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本会は昭和45年に設立され、平成25年4月より一般財団法人として、定時制通信制教育の振興と生徒の健やかな成長を支えるため、定時制及び通信制に在籍する生徒たちの支援、並びに定通教育振興のための諸事業に対する助成等を行うことを目的として活動を続けてまいりました。

本会は現在加入している高校7校（大館鳳鳴高等学校定時制、能代高等学校定時制、秋田明徳館高等学校定時制・通信制、本荘高等学校定時制、角館高等学校定時制、横手高等学校定時制、秋田修英高等学校通信制の在籍者数及び登録者数の合計は1263名）で構成されています。

しかしながら、昨今の厳しい経済状況の影響を受け、収入は年間106万円（各校からの会費2万円×のべ8校=16万円+自動販売機の手数料90万円）にとどまる一方、各校の範となる優秀な生徒への奨学金給付や定時制通信制教育振興会長賞の表彰、全国高等学校定時制通信制総合体育大会出場選手の出場費の補助などを主とした支出は170万円に達し、赤字が続いています。特に、収入の多くを占めている自動販売機の売上減少が影響し、ここ数年は基本財産を取り崩して赤字を補填してまいりましたが、このままでは数年後に財団の維持が困難となる見通です。

一方、本県の少子化が進む中でも定時制通信制高校の志願者は増加しており、特に通信制課程の志願者が増えております。働きながら学ぶ生徒をはじめ、不登校経験者や特別な支援を必要とする生徒、外国にルーツをもつ生徒、スポーツや芸能活動に励みながらも、自分のペースで学びたい生徒など、多様な背景をもつ若者の学びを支える役割はますます重要になっています。

本会は今後も定時制通信制高校に在籍する生徒たちを支え続けたいと考えております。そのためには、皆様のご支援が不可欠です。

つきましては、生徒たちの未来を守り、有為な人材を育成するため、ご寄付を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

なお、寄付の方法につきましては、同封の募集要項をご覧いただくか、本会事務局までお問い合わせください。

何とぞご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

令和7年5月23日

一般財団法人秋田県高等学校定時制通信制教育振興会
会長 竹下博英